

# 2019暴力・暴言根絶に向けた 「サッカーファミリー安全保護宣言」 研修会【県西地区】開催！！

7月13日（土）県西生涯学習センター 多目的ホールにて、第3回目となる『2019暴力・暴言根絶に向けた「サッカーファミリー安全保護宣言」研修会【県西地区】』を実施しました。

各種別やチームの活動がある中、154名の皆様にお集まりいただき、誠にありがとうございます。本協会の取り組みにご理解ご賛同をいただき感謝申し上げます。今後の活動にお役立ていただけますと幸いです。



## <第3回【県西地区】研修会>

主催者あいさつ : (公財)茨城県サッカー協会 常務理事兼事務局長 鈴木 純一  
暴力暴言の根絶に向けて : (公財)日本サッカー協会 経営企画部 法務・登録グループ長 播磨 謙悟氏  
これからのサッカー指導 : 株式会社鹿島アントラーズFC 育成部長 高島 雄大氏  
懲罰規程の改正について : (公財)茨城県サッカー協会 常務理事兼規律フェアプレー委員長 根本 清史

## <参加者の感想>

他競技団体および学校現場（部活動指導者）に対しても、同様の研修が必要だと感じました。県体育協会などを通して、ぜひこの取り組みを広く波及させてください。

4種等での指導現場で行われていた事例を聞いて、実際にこんなことが...と非常に驚かされました。今後、指導の場が変わった際には、技術のみでなく人間形成の場でもあることを意識した指導を行うことを強く意識させられた。非常に意義のある研修会でした。

改めて自分の指導を見つめ直すいい機会になった。確かに暴言が多いプレイヤーや指導者も存在する。なんとかしていきたい。

指導力を高め、暴力・暴言によらない指導をしていきたい。生徒との信頼関係を築くための心掛けを考えて行動していく。

指導者として、また一人の大人として、サッカーに関わるものの一人として、これからも指導において、指導力の向上だけでなく、人としても向上心をもって取り組んでいきたいと思えます。

改めて指導者として係り方を考えて指導していきたいと思いました。自分と接するのが、サッカーを初めてプレーする子もいると考えると、声掛け等配慮が必要であると感じました。